



第16回国際天文学・天体物理学オリンピックにて 日本代表生徒が金メダルを獲得しました

このたび、2023年8月10日から20日にかけて、ホジュフ（ポーランド）にて対面開催された「第16回国際天文学・天体物理学オリンピック（16th International Olympiad on Astronomy and Astrophysics 2023）」に日本代表生徒5名が参加し、1名が金メダル、1名が銅メダル、1名が優良賞を受賞しましたので報告します。

1. 受賞内容

金メダル

下河邊 太智（海城高等学校 3年）

銅メダル

淵上 理音（富山県立雄峰高等学校 1年）

優良賞

塚原 大輝（灘高等学校 3年）

2. 第16回国際天文学・天体物理学オリンピック概要

日程：2023年8月10日(木)～20日(日)

開催地：ホジュフ（ポーランド）

参加国数：52ヶ国

参加選手数：およそ250人

※大会の詳細につきましては別紙の参考資料をご覧ください。

発信元

日本天文学オリンピック委員会

Mail: contact@iaojapan.org

HP: <https://iaojapan.org>

X(Twitter), Instagram: @iaojapan

参考資料

概要

- ・国際天文学・天体物理学オリンピックは、2007年に第1回大会が開催された。
- ・2023年のポーランド大会は第16回目である。
- ・日本の国際天文学・天体物理学オリンピックへの参加は今大会が初。5名の生徒が参加した。
- ・日本代表生徒は、第2回日本天文学オリンピック（兼第16回国際天文学・天体物理学オリンピック日本代表選抜）により選抜した。
- ・本年は、52ヶ国からおおよそ250名の生徒が参加し、日本は金メダル1名、銅メダル1名、優良賞1名であった。
- ・次回大会は2024年8月17日から27日にリオデジャネイロ（ブラジル）で開催予定である。

日本代表団(参加生徒)の日程 (現地時間)

- 8月9日(水) 成田空港出発
- 10日(木) クラクフ空港（ポーランド）到着
- 11日(金) 開会式
- 12日(土) 団体競技
- 13日(日) 理論ラウンド（天文学、天体物理学に関する知識や思考力を問う理論試験）
- 14日(月) 観測ラウンド（画面に映された実際の星空を、望遠鏡を用いて観察する実技試験）
- 15日(火) 解析ラウンド（与えられた実際の観測データをもとに現象を分析する実技試験）
- 16日(水) プラネタリウムラウンド（プラネタリウムに投影された様々な時間・場所の星空を観察する実技試験）
- 17日(木) オグロジェニツ城見学、Cultural Evening (交流イベント)
- 18日(金) グイド鉱山見学、植物園見学
- 19日(土) 閉会式
- 20日(日) カトヴィツェ空港（ポーランド）出発
- 21日(月) 成田空港到着、解散

国際天文学・天体物理学オリンピックについて

国際天文学・天体物理学オリンピック（IOAA: International Olympiad on Astronomy and Astrophysics）は、中等教育修了以前の生徒のための天文学・天体物理学の国際大会で、2007年から毎年開催されています。大会は、特に青少年への一般教育を通じて、天文学と関連するSTEM科目への関心向上や、天文学・天体物理学の学校教育の促進、国際交流の強化を主な目的としています。成績優秀者には、金メダル（補正後の合計得点が満点の80%以上）、銀メダル（同65%）、銅メダル（同50%）、優良賞（理論試験または実技試験の点数が基準点以上で銅メダルに達しなかった場合）などが与えられます。

日本天文学オリンピックについて

日本天文学オリンピック（JAO: Japan Astronomy Olympiad）は、日本の児童生徒を対象とした天文学・天体物理学の大会で、2022年度から開催されています。大会は、天文学分野の国際科学オリンピック日本代表の選抜及び、国内の天文学に興味がある児童生徒の交流促進を主な目的としています。成績優秀者には、金賞・銀賞・銅賞（本選で優秀な成績を修められた方、各10名程度、合計30名程度に授与）などが与えられます。



第16回国際天文学・天体物理学オリンピック閉会式後の日本代表生徒ら（2023年8月19日撮影）